

ずー

| 土浦平和の会

JニュースNO・62 ? qq 8*6月 S

(こ_ _ _ _ _。 , _ _ _ _ _グ=y 建二_ _ 「

抑えの効かなくなった核開発

核不拡散よりも核兵器廃絶しかない！

インドの突然の核実験は全欧界に衝撃を与えましたが、続いてパキスタンが国際世論とアメリカ、日本などの自制を求める説得にもかかわらず実験を強行したことは、核不拡散の国際条約も [司際世論さえも効力を失ってしまったこと、今後とめどもない核拡散と核軍拡競争の危険が現実のものとなったことを示しました。

これまで核疑惑のある国としてイスラエルやイラク、北朝鮮、インド、パキスタンなどの名前が上がっていた中で、アメリカ、ロシアをはじめ超大国が核不拡散の番兵のように考えられていたし、イラクや北朝鮮に対してはアメリカは軍事力を背景に強引な抑制手段をとってきましたが、イスラエルやインド、パキスタンに対しては匪界のどの国も対抗措置をとらなかつたのは、インド、パキスタンが非同即 | 吭の霖場をとり非同盟諸国会議のリーダーとして核大国による核独占を非難してきたことから、「まさかこの国が」というひいき目があったと考えるし、国際匪論を裏切り、経済制裁を覚悟してまで核保有に踏み切ることもないだろうという汕断ちあったわけです。しかし、このような思惑は幻想にすぎなかつたのです。この幻想がうち破られたいま、イラン、イラクが核実験を準備したとしても、核保有国であるアメリカの説得はすでに効果がないと言ってもよいでしょう。イスラエルが「中東最初の核保有国にはならない」と言ってきたとしても、なんの保障にもならないことは明白です。いずれにしても、5カ国による核独占の体制はすでに効力がなくなつたわけです。

核による世界の破滅を救う道は核兵器削減でも不拡散でもなく「全面核実験禁止」「核兵器廃絶」しかありません。いま緊急に求められているのは、被爆国として国連をはじめ国際的舞台で「核兵器廃絶」を提案してゆくことです。日本の政府に対して「核兵器廃絶」を緊急に提案させること、そのための大運動をはじめましょう。

5月29日 井上仁志

999印鴉 a G甲 10員白團台

が終わりました。

5月24日(日)茨城県平和委員会総会が石岡青少年センターでおこなわれ予定通り終了しました。

「ガイドライン」関連法案、「改憲」の動きなどの危険な動きに対処できる「行動する」委員会にしよう。自治体に要求していこう。1、000名の会員を実現しよう。などの運動方針が決議されました。平和かわら版NO、204に掲載されているように活発な意見交流がありました。上浦からは山口雪雄、井上仁志、斉藤健一、松尾義美、井上町子の五名が参加しました。

行事ごよみ

- 5・3 憲法を考える市民の会(上浦ワークヒル)
- 5・9 県平和委理事会(石岡青少年センター)
- 5・14 : 浦平和の会理事会(1中地区公) 県大会代議員確認、仲間づくり、インド核実験抗議、アピール署名等話し合い。
- 5・24 県 |リ11委人会(石岡青少年センター)
- 6・6・7 日本平和大会(埼Ji和)
- 6・]。4 上浦母親大会(土浦ワークヒル)
- 6・16 土浦平和の会理事会(一中地区公民館)

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 31-9122



'98ft国鷺平和大行進か猶京蓼の扨

を5月6日 スタートしました。

5月9日には北海遼コースもスタートします。茨城へは7月2日~13日。石岡・土浦へは70日(旦)の予定です。参加のお誘い、休暇の確保などの準備をしましょう。コースは昨年と同じの予定。亀鼈プラザ正午ころ髓、靈菰ののち7時出発

-ロメモ

-ミ=ミ=ミ==ミ=Jとし_ _ _ _ _ . _ _ _

今国 § に上程されている有事法宗は「周辺事態措置法」「日衞物品役務相互提供協定(ACSA)」「改悪察「自衞隊法改悪察」の3つです。台湾を包む温東と芒の周辺に衞軍とともに出勤する危険な法宗が審臆されようとしています。



仲間づくり'97年度目標70名にあと2人です。平和の願いを実現するために仲間を紹介してください。'98日標は80名です。